修練

2014年度 12月号

2014年度スローガン　（一社）にいがた北青年会議所　JCI

# 五常厳勇

## １１月例会『キタクエストⅡ』in キテミテキタク

11月３日（月・祝）こどもみらい委員会担当の１１月例会、新潟競馬場にて「キテミテキタク」にて当青年会議所は昨年に続き【ウォークラリー『キタクエストⅡ』inキテミテキタク】を行いました。

当日は気温も低く通年に比べ参加者は減少しましたが、多くの親子の方に参加していただきました。

ウォークラリーの問題の内容を北区の歴史にまつわることを主とし、北区の歴史や文化について考えることで自分たちの住んでいる地域に興味を持ち、今後、自らの地域を学んでもらい、郷土愛を育んでいくこを目的としました。

参加者の方には、当青年会議所が作成した北区のニュースイーツ『コロンコロン』を配り、着ぐるみを着て参加者の勧誘も同時に行いました。

早川委員長率いるこどもみらい委員会担当のの今年最後の事業となりました。大変お疲れ様でした。

## 北区区民会議

11月16日（日）新潟市北区文化会館にて、北区区民会議を行いました。

第一部　増田寛也氏（元総務大臣）を迎えて、地方消滅に関する公演

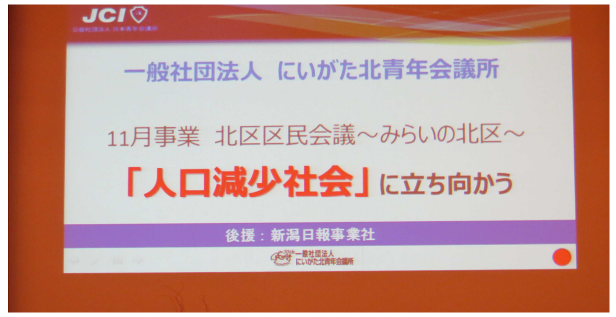
第二部　増田寛也氏、飯野晋氏（新潟市北区長）、伊藤弘子氏（豊栄児童センター　センター長）、当青年会議所　善宝晋場理事長を交え、～みらいの北区を考えよう～についてパネルディスカッション。

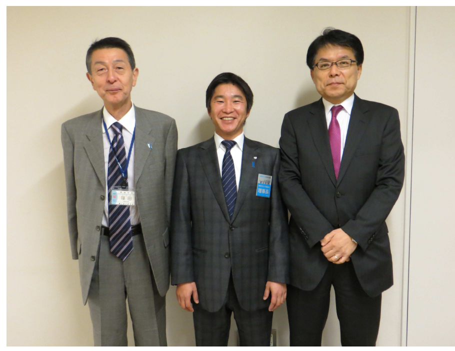
第三部　区民会議　を行いました。当日は篠田昭新潟市長もお越しいただきました。

これから、皆様からいただいた意見を精査し、北区の声とし、提言書を作成し新潟市に提出致します。

1月17日付の新潟日報にも掲載されておりますので、ご覧いただければと思います。

参加された皆様ありがとうございました。





若者の声聞き　人口減防ごう

新潟

増田元総務相ら議論

人口減少問題について、さまざまな意見が出されたパネルディスカッション＝16日、新潟市北区

人口減少問題を考えるパネルディスカッションが16日、新潟市北区の区文化会館で開かれた。にいがた北青年会議所が主催し、市民ら約70人が参加した。「日本創成会議・人口減少問題検討分科会」で座長を務めた増田寛也元総務相や、北区の飯野晋区長らが意見を出し合った。

増田氏は、約30年後、若い女性の数が大きく減るとの同会議の推計を紹介しながら「地方の人口流出を防ぐには、詳細なデータに基づいた分析が欠かせない」と指摘。「若い女性の意見が行政や議会に届きにくい。（行政などが）意見を聞く場を設ける必要がある」と力説した。飯野区長は「人口減を止めるには、若者が魅力を感じる雇用の場をつくらなければならない」と強調した。

新潟市中央区の公務員、五十嵐太郎さん(44)は「どうしたら若者が住みたい町にできるか考えるいい機会になった」と話していた。

## 次年度理事長予定者を励ます会

10月27日（月）次年度理事長予定者を励ます会が開催されました。現役メンバーをはじめ、多くのOBの方々に出席いただきました。当日は雨模様の中、中峰ゴルフ倶楽部にてコンペ。夜は割烹中常楼にて励ます会。その後も２次回・３次回・・・。と有意義な時間を過ごすことが出来ました。

ゴルフ優勝は、水戸康司先輩になりました。

励ます会でも善宝晋場今年度理事長、大矢和也今年度OB会長の挨拶をはじめ、佐藤格夫次年度OB会長予定者の乾杯。頓所充次年度監事予定者の少し緊張が見えた締めの挨拶等次年度モードに少しづつではありますが、動き出して来ました。設営して下さいました、小林直人直前理事長ありがとうございました。

## 理事長塾

１１月１８日（火）見附市のイングリッシュガーデンホテル　レアント　にて～新潟ブロック協議会　2014年度理事長塾～が行われました。

理事長塾とは３年未満及び２０１５年度理事予定者の会員を中心に、JC運動に対する疑問や不安を解消しJCの魅力や価値を認め、近い将来のLOMを担う人材を育成するために、会員会議所理事長に塾長となっていただき、真剣に向き合い、思いを伝えていただく場となっております。

当青年会議所からは、善宝理事長をはじめ、塾生として伊藤清人君・忠平凌君（11月理事会にて新入会員承認）の２名を加え参加してきました。普段中々話すことが出来ない理事長の方々と話すことが出来、とても勉強になり参加して良かったです。（伊藤君談）

## ３０周年記念事業　『感謝の桜』植樹祭

１１月２４日（月・祝）福島潟にて『感謝の桜』植樹祭とタイムカプセル事業を行いました。

福島潟では当青年会議所の設立当時から今まで様々な事業に関わってまいりました。今現在もチャーターメンバーによって植樹された桜並木や、１５周年の“どんばす”の石碑が形として残っております。そして３０周年の本年も、感謝の気持ちを形にする活動として今一度、このタイミングで周年事業の活動を共にし、想いを一つにして、まずは自身に３０年の感謝の想いを刻み今後それを地域に示す為にこの事業を計画致しました。

この地域の皆様への感謝の形として地域の新たな「たから」となる桜並木の植樹作業を共に行っていただき、福島潟の散策を通じてこの地域の魅力を感じていただくことを目的としました。

植樹の募集と併せて、タイムカプセルの参加者募集を呼びかけ、１０年後の自分への手紙を書いて、豊栄商工会事務局にて１０年間保管し、４０周年記念事業として郵送する事業も同時に行いました。責任を持って保管させていただきます。参加された皆様お疲れ様でした。

## おわりに

２０１４年度最後の修練となりました。

総務広報委員会としては、善宝理事長のもと「五常厳勇」を胸に修練を制作してきましたが、まだまだ至らない点も多く、皆様に喜んで頂けたか不安に思いますが精一杯作成してきました。一年間ご愛読ありがとうございました。　　広報委員会一同